

英語学概論(第3講)

アルファベット

この講座で学ぶこと

- ▶ アルファベットの起こり
- ▶ 大文字と小文字の起源と使い分け
- ▶ ローマ字教育（国語と英語の授業にて）



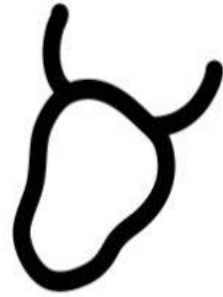
世界の文字の種類

- ▶ 表意文字（漢字など）：文字が意味を表す。
- ▶ 表音文字（アルファベットなど）：文字が音を表す。
- ▶ ルーン文字（古代ゲルマン人が用いた言語）
- ▶ ギリシア文字→キリル文字
- ▶ フェニキア文字



文字の変遷

文字→アルファベット
フェニキア文字→ギリシア文字→表意文字から表音文字へ



原シナイ文字の
アーレフ



フェニキア文字の
アーレフ



初期ギリシャ文字
のアルファ



ギリシャ文字、
ローマ字の
アルファ

原シナイ文字とは、シナイ半島にあるトルコ石の鉱山跡から発見された文字のこと。フェニキア文字よりも時代が古い。Aの形は、フェニキア文字と比べて、より牛の頭に近くなっている。

ギリシア文字



ギリシア文字

ギリシャ文字

() 内は物理・数学などの慣用読み

大文字	小文字	名称	大文字	小文字	名称
A	α	アルファ	N	ν	ニュー
B	β	ベータ	Ξ	ξ	クシー (クサイ)
Γ	γ	ガンマ	Ο	\omicron	オミクロン
Δ	δ	デルタ	Π	π	ピー (パイ)
E	ϵ	イプシロン	P	ρ	ロー
Z	ζ	ゼータ	Σ	σ, ς^*	シグマ
H	η	エータ (イータ)	T	τ	タウ
Θ	θ	テータ (シータ)	Υ	υ	ユプシロン
I	ι	イオタ	Φ	ϕ	フィー (ファイ)
K	κ	カッパ	X	χ	キー (カイ)
Λ	λ	ラムダ	Ψ	ψ	プシー (プサイ)
M	μ	ミュー	Ω	ω	オメガ


* 語末のみ ς 、それ以外は σ が用いられる。

キリル文字(ロシアが使っている文字)

А	Б	В	Г	Д	Е
Ё	Ж	З	И	Й	К
Л	М	Н	О	П	Р
С	Т	У	Ф	Х	Ц
Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы	Ь
Э	Ю	Я			



色々な数の表現

- ▶ 数字の書き方を見てゆく。
- ▶ 漢数字(一、二、三、四、五、、、、) (壹、弍、参、四、伍、陸、、拾、千)
- ▶ 二十円 → 金弍拾圓也
- ▶ アラビア数字 (1, 2, 3, 4、、、、) 
- ▶ 固有名詞は漢数字を使うが、単なる数字はアラビア数字を使う。
- ▶ ローマ数字 I II III V X

大文字と小文字の成立

- ▶ 当初は大文字のみが使用されていた。
- ▶ 文字を書く場合は、大文字は書くのに時間がかかる。そのために、小文字が使われるようになり、筆記する速度が速くなった。
- ▶ 文章のはじめが大文字となり、文の先頭が分かりやすくなった。
- ▶ 固有名詞の先頭が大文字となり、普通名詞との区別が付きやすくなった。
- ▶ ドイツ語では、名詞はすべて先頭は大文字である。

筆記体

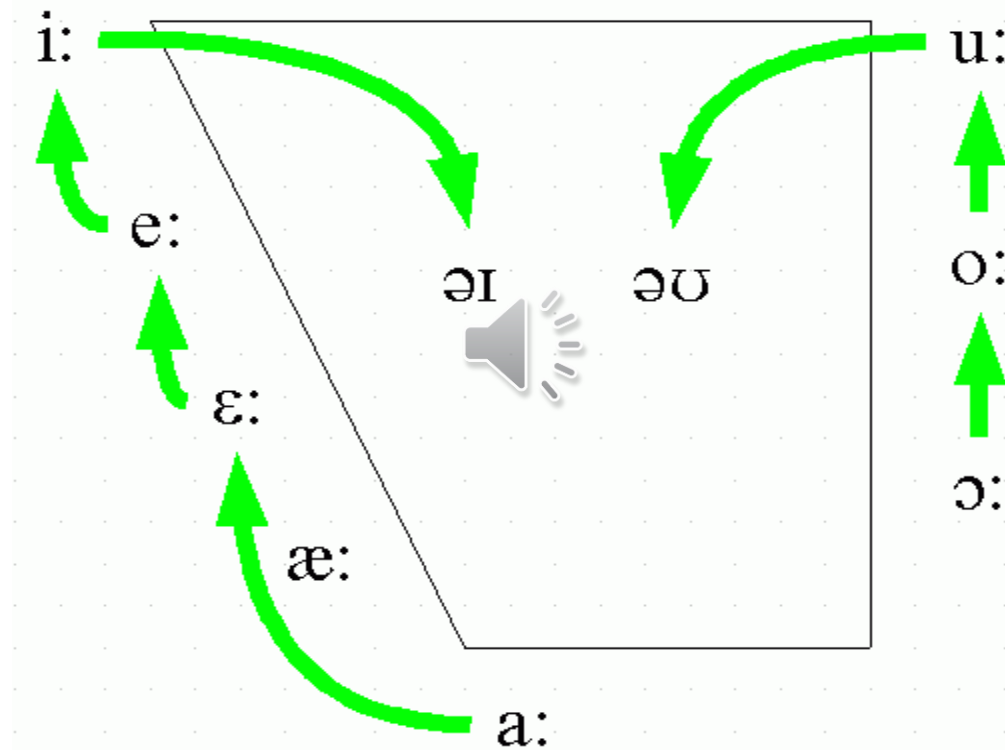
- ▶ 筆記体とは、英語などのローマ字ベースで書かれる言語で使われる「書体」のひとつである。筆記体は英語などで使われる「書きやすいように崩した文字」である。
- ▶ 英語の教科書や英字新聞で書かれているような「崩していない、筆記体ではない文字」を「ブロック体」と言う。教室では、ブロック体で黒板に書く。
- ▶ 現在では筆記体を教わることはないが、サインなどをするときには、筆記体を知っておくと便利である。

印刷術

- ▶ 当初は僧院などで書生が羊皮紙に一枚一枚、筆写していた。
- ▶ グーテンベルク 印刷術の発明 (活版印刷)
- ▶ 1476年に、William Caxton (ウィリアム・カクストン) が印刷所を開設した。



大母音推移：変化したパターン




★“child” は、「チールド」から「チャイルド」へと発音が変わりました。

辞書の成立とスペルの確定

- ▶ 大母音推移により英語の母音の発音が変化した。それにより、発音とスペルの齟齬が目立つようになったが、辞書が出てきたために、スペルが固定化していった。
- ▶ しかし、近年では、ネット時代を契機にして、スペルが変化しつつある。
- ▶ テキストメッセージにより、その変化が目立つようになってきた。
- ▶ u- you 4 - for night - nite

国語の時間に習うローマ字

- ▶ 内閣式
 - ▶ 昭和29年12月9日に内閣告示第1号として、「ローマ字のつづり方の実施について」を発し、各官庁はローマ字で国語を書き表す場合には、このつづり方によるべきことなどを訓令している。
- 
- ▶ ヘボン式
 - ▶ 日本語表記をラテン文字表記に転写する際の規則、いわゆるローマ字の複数ある表記法のうち、日本国内および国外で最も広く利用されている方式である。
 - ▶ ジェームス・カーティス・ヘボン（James Curtis Hepburn）によって考案された。

課題

- ▶ 自分の名前を筆記体で書けるようになり、サインできるようにする。
- ▶ 文字と印刷術の歴史について調べる。
- ▶ 表音文字と表意文字の長所と短所を比較しなさい。
- ▶ 筆記体で自分のサインを書いてみましょう。

